



岡部株式会社

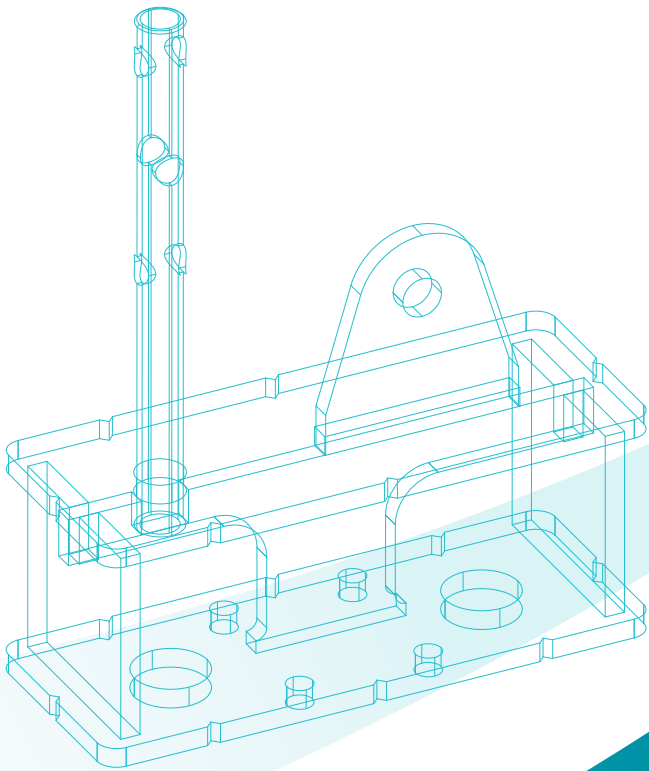


株式会社タツミ

Tec-One P3+

テックワン・P3プラス接合システム

高耐力壁専用柱脚工法 PAT.

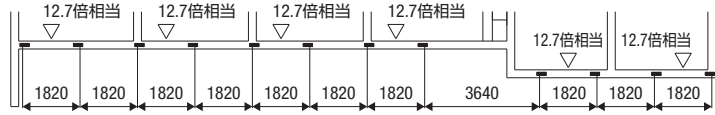


特長

- 本製品はテックワンP3プラス接合システム専用の柱脚工法です。
- ボルト穴が過大孔であるため、アンカーボルトの水平方向施工誤差(約±7mm)を吸収できます。
- 鉛直軸力と、せん断力を同時に伝達することが可能です。
- 柱と筋かいを金物に個々に接合することで、木材に付加曲げが生じにくくなっています。
- 本製品は材料と工事を提供する、「材・工」製品です。
- 本製品の施工は専門の有資格者に限定しています。これによって高い品質を提供することが可能です。
- 大きな水平力を保持することが可能です。(壁倍率10～20倍相当)架構の一例を下に示します。



写真の建物の壁倍率(相当値)



構造用合板両面貼り・全面耐力壁としても、本計画を実施することはできません。本製品のシンプルな構成と高い耐力によって、意匠の自由度が大きく向上します。

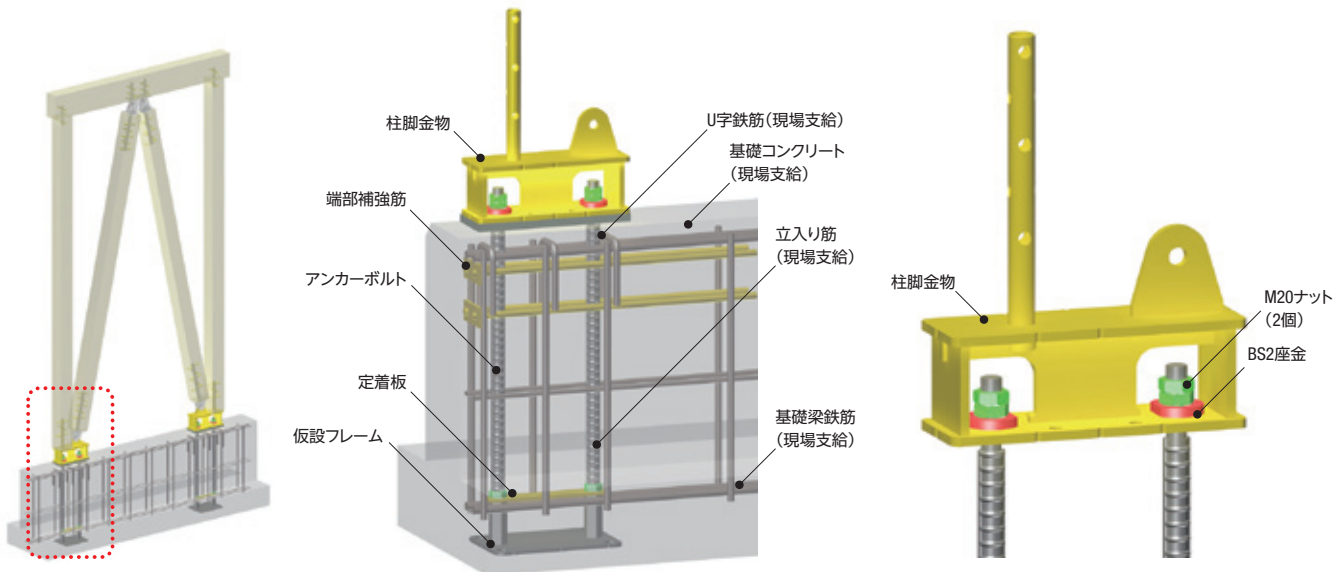
適用範囲

構造計算ルート

- 令第46条第2項による計算(昭和62年建設省告示第1899号)
- ルート1(令第82条各号及び第82条の4の規定による計算)
- ルート2(許容応力度等計算)

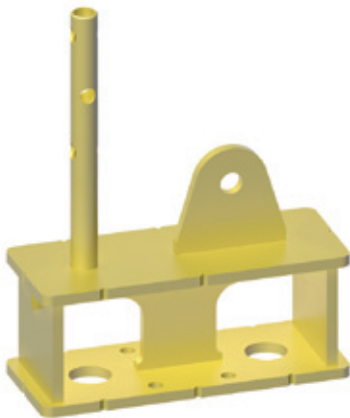
建築物の規模

- 3階以下、延面積3000m²以下、軒高さ31m以下、建物高さ31m以下、塔状比4以下

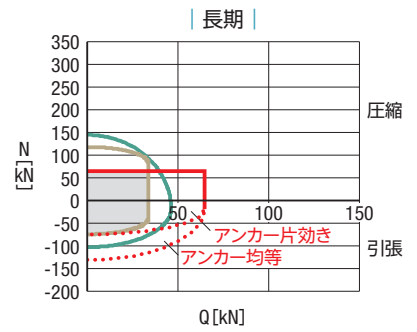
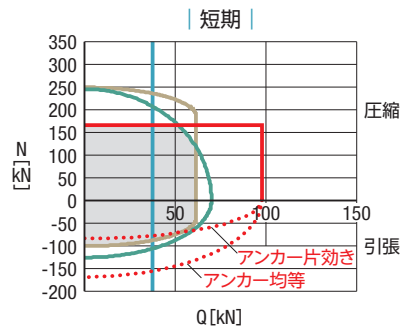


仕様

BS2-S | 105 ~ 120角の柱に対応



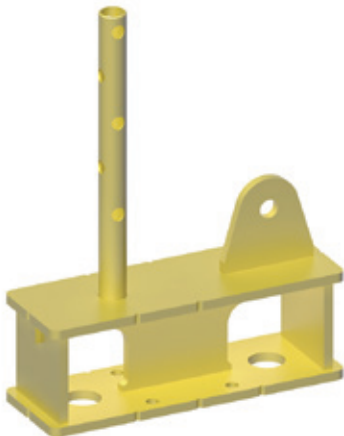
設計可能領域



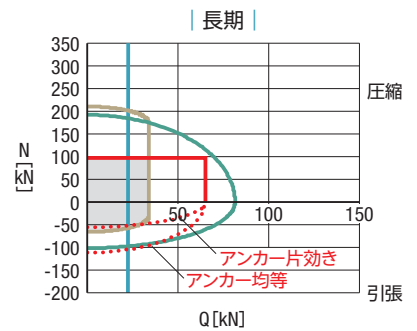
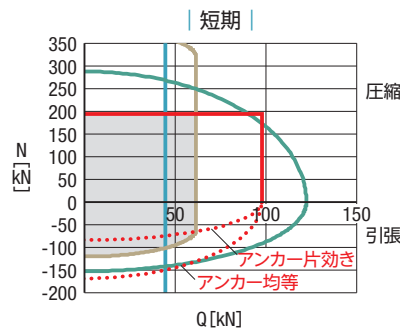
- アンカー・基礎で決定される領域(短期)
- 金物で決定される領域(短期)
- 入力限界の範囲
- 隅柱のせん断

- アンカー・基礎で決まる範囲(長期)
- 金物で決定される領域(長期)
- 入力限界の範囲
- 隅柱のせん断

BS2-L | 120×210以下の柱に対応(120角を超える柱についてはお問い合わせください)



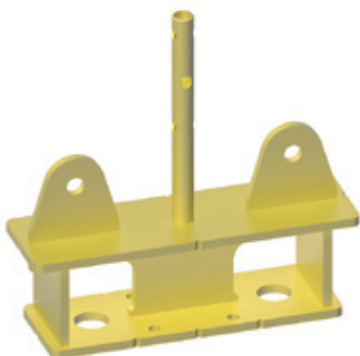
設計可能領域



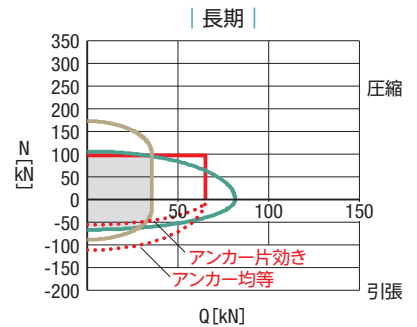
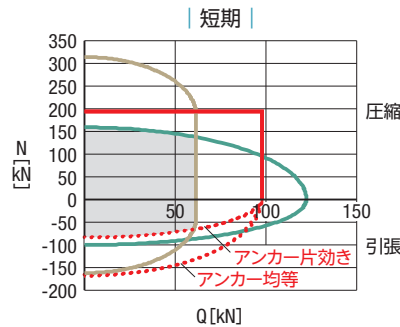
- アンカー・基礎で決定される領域(短期)
- 金物で決定される領域
- 入力限界の範囲
- 隅柱のせん断

- アンカー・基礎で決まる範囲(長期)
- 金物で決定される領域
- 入力限界の範囲
- 隅柱のせん断

BS2-W | 105~120角の柱に対応。柱の両側に筋かいを取り付けることが可能(120角を超える柱についてはお問い合わせください)



設計可能領域



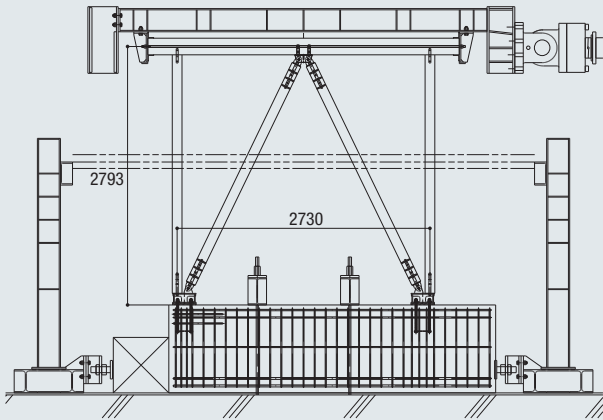
- アンカー・基礎で決定される領域(短期)
- 金物で決定される領域
- 入力限界の範囲

- アンカー・基礎で決まる範囲(長期)
- 金物で決定される領域
- 入力限界の範囲

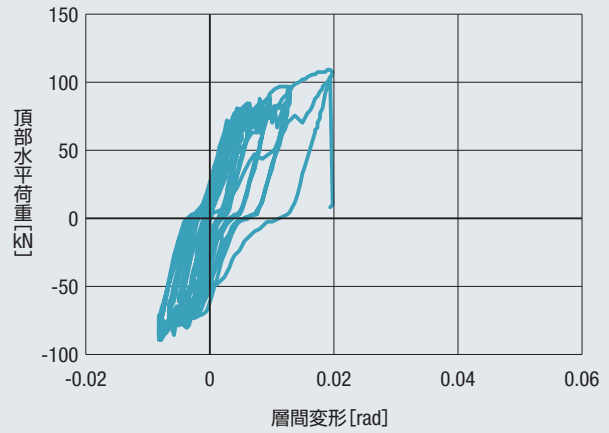
※使用可能範囲は筋かいの角度によって変化します。詳細は設計マニュアルをご参照ください

性能確認試験

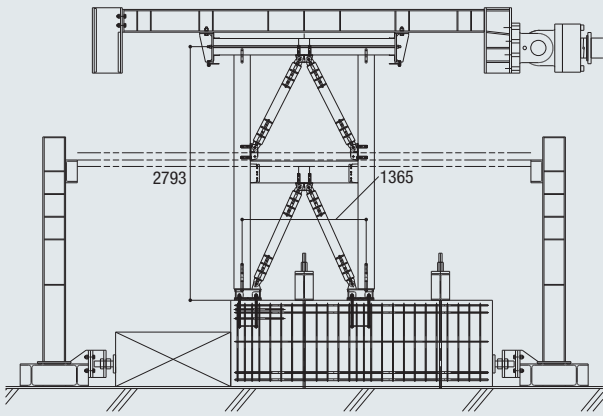
高さ2,793 幅2,730 BS2-S 1段 隅柱



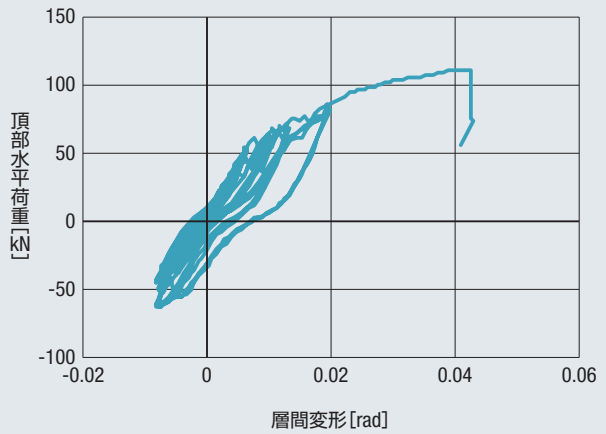
隅柱に用いても壁倍率 **9.1** 倍相当を実現!



高さ2,793 幅1,365 BS2-L 2段 隅柱

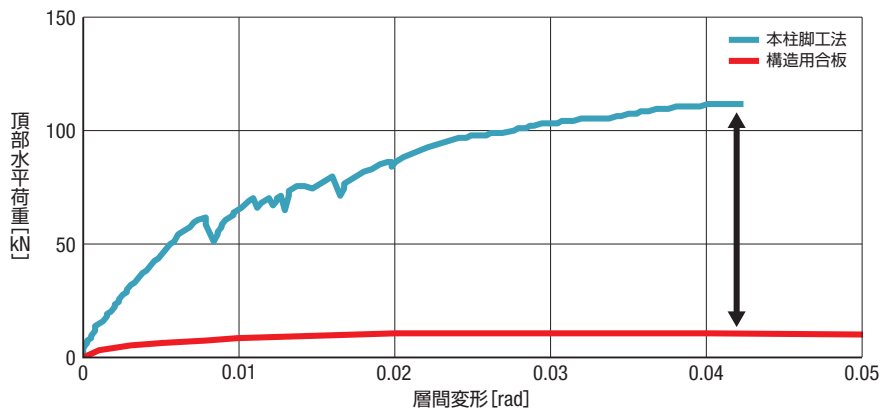


隅柱に用いても壁倍率 **17.4** 倍相当を実現!



性能の概要

本柱脚工法を用いた耐力壁は、一般的な耐力壁と比較して、非常に高い剛性・耐力を有しています。



評定書

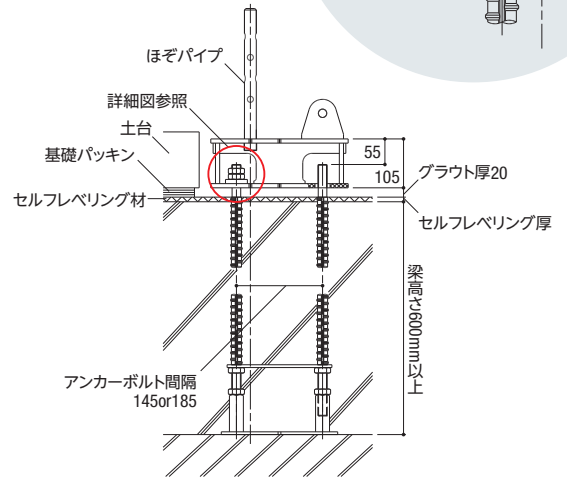
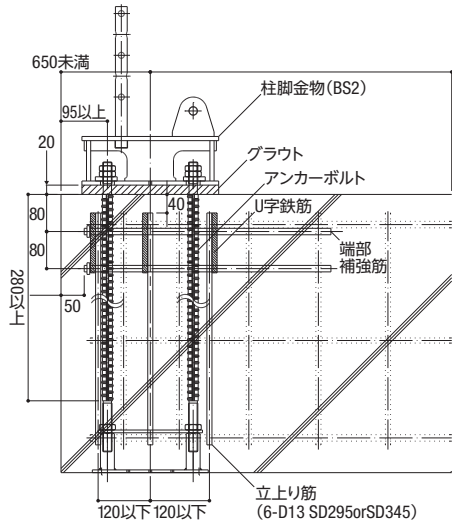
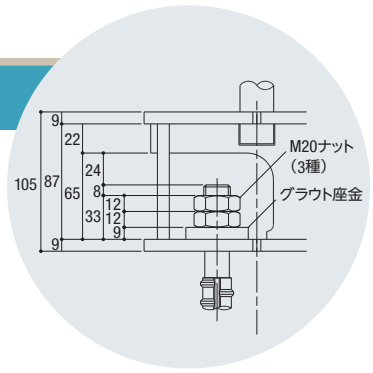
評定番号 **BCJ評定-LW0042-03**



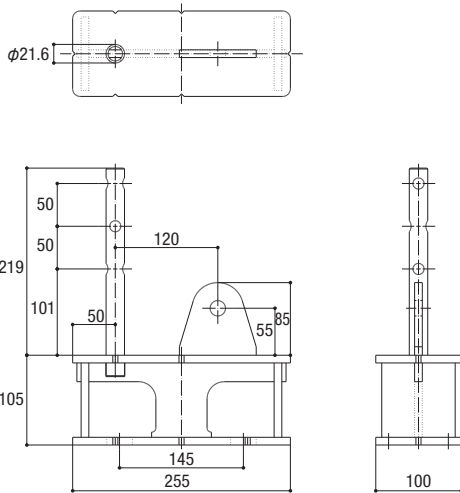
※構造用合板のデータは木造と住宅の耐震診断と補強方法(一財 日本建築防災協会)に示されているデータを用いた。

納まり例

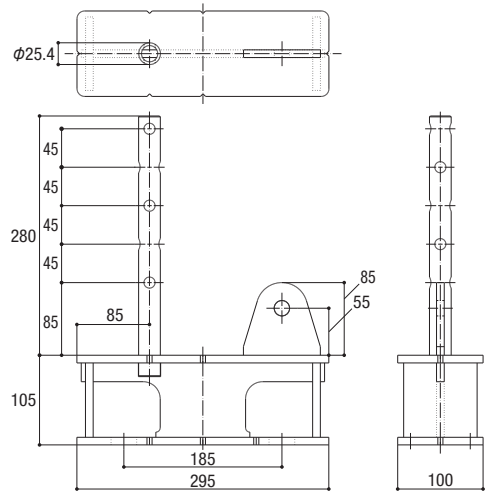
基礎の幅200mm以上、基礎の高さ600mm以上、コンクリート強度 $F_c=21\sim 36\text{N/mm}^2$
 (TEC-ONE P3 plus高耐力壁専用柱脚工法が取り付く場所)



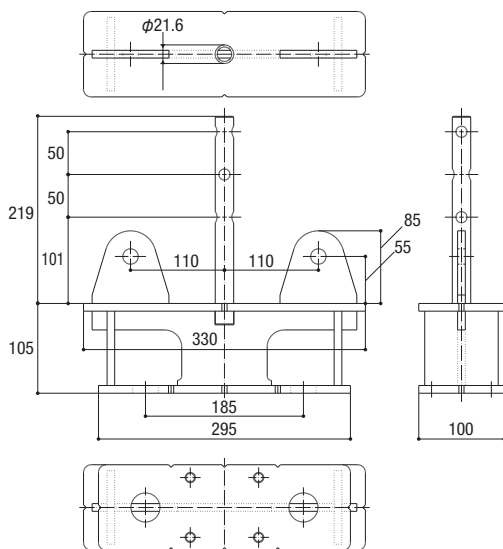
BS2-S



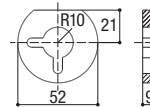
BS2-L



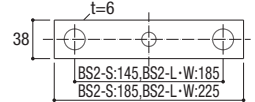
BS2-W



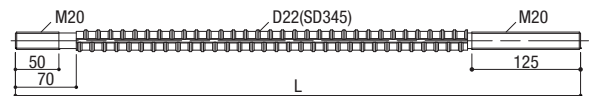
座金



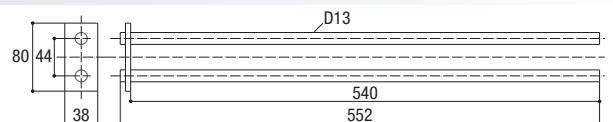
定着板



アンカーボルトD22-M20



端部補強筋



施工の流れ

一般的な作業工程(例)

捨てコン

捨てコンへ墨出し

布基礎・耐力板の配筋

基礎梁の配筋

布基礎・耐力板の型枠建込み

布基礎・耐力板のCon打設

基礎梁の型枠建込み

基礎梁のCon打設

埋戻し

土間スラブの配筋

土間スラブのCon打設

セルフレベルリング・レベルモルタル打設

墨出し

土台敷込み

アンカーフレームの設置



通り直し作業



BS2柱脚設置、グラウト注入



施工例



施工例



⚠️ 取扱いにおける注意事項 (別紙の設計、施工マニュアルをご一読ください)

- 必ず付属のアンカーボルト、座金、ナット、グラウトを用いてください。
- グラウトは24時間以上養生してから建て方を行ってください。
- 接合、締め付け工具類は、適切なものをご使用ください。
- 現場で防錆、防蟻処理を行う場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。
(金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。)
- 投げ投げたり、ハンマーで叩くなど、乱暴に扱うと破損や変形の恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないでください。

⚠️ 免責事項

本製品に問題が発生した場合には、下記の免責事項を踏まえた上で対応させていただきます。

- 本カタログに記載した注意事項が行われずに発生した不具合。
- 本カタログに記載した事項に反した施工が行われた不具合。
- 本カタログに記載する使用目的以外の使用による不具合。
- 施工業者による施工、取扱いに起因する不具合。



岡部株式会社 ベースパック事業部

お問い合わせ先

営業支援部 TEL.03(3624)5401 FAX.03(3624)5154

<https://www.okabe.co.jp/mokuzo/tec-one-p3plus-chukyaku/>

東部営業部 / 〒131-8505	東京都墨田区押上2-8-2	TEL.03(3624)5336	FAX.03(3624)5237・5267
中部営業部 / 〒485-0074	愛知県小牧市新小木2-16	TEL.0568(71)6864	FAX.0568(71)7251
西部営業部 / 〒564-0051	大阪府吹田市豊津町8-7 宝ビル5F	TEL.06(6338)3123	FAX.06(6338)3141
北海道	〒003-0874 北海道札幌市白石区米里4条2-1-20	TEL.011(871)1449	
青森・秋田・岩手 宮城・山形・福島	〒984-0011 宮城県仙台市若林区六丁の目西町3-1	TEL.022(390)6180	
東京・千葉・埼玉・茨城 栃木・群馬・神奈川 山梨・新潟・長野	〒131-8505 東京都墨田区押上2-8-2	TEL.03(3624)5336	
静岡	〒420-0035 静岡県静岡市葵区七間町18-1 PIVOT静岡301	TEL.054(204)7282	
愛知・岐阜・三重	〒485-0074 愛知県小牧市新小木2-16	TEL.0568(71)6864	
石川・富山・福井	〒920-8203 石川県金沢市鞍月5-177 AUBEII6F	TEL.076(238)7215	
大阪・京都・滋賀・兵庫 奈良・和歌山	〒564-0051 大阪府吹田市豊津町8-7 宝ビル5F	TEL.06(6338)3123	
鳥取・岡山・島根 広島・山口	〒734-8513 広島県広島市南区出島2-4-14	TEL.082(254)4813	
香川・徳島・愛媛・高知	〒761-0101 香川県高松市春日町1654-1	TEL.087(843)5057	
福岡・長崎・佐賀・大分 熊本・鹿児島・宮崎	〒811-2233 福岡県糟屋郡志免町別府北2-5-1	TEL.092(624)5882	
沖縄	〒901-0231 沖縄県豊見城市我那覇520-1	TEL.098(856)2700	



株式会社タツミ

本社 / 〒954-0087	新潟県見附市芝野町1232-1	TEL.0258(66)5515(代)	FAX.0258(66)7007
見附工場 / 〒954-0111	新潟県見附市今町8-3-1	TEL.0258(66)5709	FAX.0258(66)5817
北関東工場 / 〒321-2344	栃木県日光市猪倉3588-1	TEL.0288(32)2121	FAX.0288(32)2168
東京営業部 / 〒104-0033	東京都中央区新川1-16-4 茅場町ガラスゲート5階	TEL.03(6262)8743	FAX.03(6262)8763
関西営業部 / 〒530-0003	大阪市北区堂島1-1-25 新山本ビル3階305号室	TEL.06(6131)6130	FAX.06(6131)6230

※このカタログに記載している仕様、規格等は改良のため予告なく変更することがあります。カタログの制作には慎重を期しておりますが、誤字・脱字により生じた損害については責任を負いかねます。